

資料 1

各候補地における建替事業の評価および対策

		①現地建替案			②移転建替案		
		評価	対策方法・必要性	対策に対する課題等	評価	対策方法・必要性	対策に対する課題等
立地条件	洪水	・浸水想定区域外。	不要		・浸水想定区域内。	盛土（敷地および進入路） 現小学校体育館を避難所に指定	
	地震	・揺れが少ない。	不要		・地盤が緩く揺れが大きくなる。	地盤改良	
	交通安全	・歩道が整備され交通量が少ないが、下校時に保護者の車が正門前で渋滞することによる安全確保が課題。	現、安土コミセンを駐車場として活用。	安土コミセンの整備地をどうするか。 駐車場から小学校までの安全確保	・交通量の多い県道を横断する。	高架下への迂回	児童が一部の道路に集中する。
	埋蔵文化財	・包蔵地に含まれ、試掘が必要。			・一部が包蔵地に含まれ、試掘が必要。		
計画	1.校舎規模	・小学校設置基準を満たしている。			・小学校設置基準を満たしている。		
	2.屋内運動場規模	・設置基準を満たしている。			・設置基準を満たしている。		
	3.グラウンド規模	・設置基準を満たしている。			・設置基準を満たしている。		
	4.駐車台数	・職員・来客用として不足している。	現、安土コミセン用地を駐車場として活用。	安土コミセンの移転が必要。	・職員・来客用として充足している。	不要	
			立体駐車場の整備	自走式の場合、スロープに場所がとられるため、まとまった台数を確保出来ない。	・臨時駐車場として活用できる台数がある。		
5.車両動線	・駐車場出入口が県道からの1箇所しかない。	歩行者および車両がなるべく交差しないよう建物・駐車場の位置を工夫	用地の拡張 用地買収に対する地権者の協力	・駐車場出入口は、周辺道路に複数箇所設定できる。			
近隣対応	1.普通教室の配置	・放送設備や音楽の授業による音の配慮が必要。	外部スピーカーの音量制限		・直近に住宅がない。	不要	
		・工事期間中の騒音・振動	音楽室を防音構造にする。	窓を開けた換気が出来ない。		不要	
	2.グラウンドの配置	・北側住宅に対してイベント時の音に対する配慮が必要	音量の制限		・直近に住宅がない。	不要	
	3.日影の影響	・日影は発生するが影響は少ない。			・周辺に隣家がないため影響はない。		
児童の負担	1.仮設校舎	・仮設校舎が必要。	工事期間中のみ		・仮設校舎が不要。	不要	
	2.グラウンド	・建設期間中は狭くなる。	工事期間中のみ	運動会はマリエート等、他のグラウンド利用を検討	・広くなる。	不要	
	3.工事の影響	・騒音・振動の影響を受ける。	工事期間中のみ	授業に支障となる音や振動が出る 工事は休日に行う等の配慮	・工事の影響はない。	不要	
	(追加) 通学距離	・現状のまま			・現地案より通学距離が遠くなる児童が増える		
工期	許認可手続き	・農政協議、開発申請など工期に影響を及ぼす許認可申請が不要。			・農政協議、開発申請など工期に影響を及ぼす許認可申請が必要。		
	概算事業費 (消費税含む)	・約31億4千万円			・約37億1千万円		